

日本史 A で生徒がグループごとにスライドを作成していたが、見にくい点もあった。作成の基準などを明確にしてもよいのではないか。

タブレットで文字を書くのが書きにくそうに感じた。

日本史 A で生徒発表の形式をとるならば、各グループでテーマを変えたほうがよかったのでは。聞いている生徒が、やや手持ち無沙汰になっていた。

ふりかえりシートの活用は非常によかった。ただし、シート内でのループリック評価の基準があいまいに感じた。また、提出はロイロノートを使うより、紙ベースのものを出させた方がよい。

世界史 A の最初の復習は Keynote よりも Quizlet を用いたほうが、全体で取り組めるのでよい。

発表のテーマを全グループで同じにしたのは、聞く側が自分たちの気づけなかった新たな発見を出来るようにしたかったからである。

ふりかえりシートは中 3 では、紙ベースのものを冊子状にして提出させている。高 1 ではせっかく全員が iPad を持っているのに、それを活用して提出させた方がよいのではないか。

ペーパーレス化もよいのだが、紙ならではのよさも当然ある。こちらがコメントを書いて返却するのであれば、ロイロ上でのやりとりよりも紙に直接書いてあげたほうがよい。

世界史 A の中で、生徒が教員からのお題をタイプするシーンがあったが、全体的にタイプに苦戦している印象を受けた。また、提出シートの色を分けていたが、できれば先に伝えてあげたほうが文字の色などを考えるとよかったように感じた。

資料集などの副教材は購入しないのか。

A ということで購入を見送った。見せたい資料などは、プロジェクタなどの投影でも十分事足りているし、ロイロノートで送ることもできる。ただし、次年度の B では資料集の購入を検討している。

日本史 A の生徒が作成したスライドは生徒間で共有できるものにしてもよいのではないか。

世界史 A では、地図アプリを利用していたが、せっかく中東地域を扱うならば、国際情勢を踏まえてもっとさまざまな都市を見てもよかったのではないか。

日本史 A での学習の課題はすべて教員が考えているのか。

現状は考えている。

ただし、できる限り答えが一つには絞られないような問いを出すように心がけている。